

夏休み・親子バックヤード見学会

滑走路の広さなど体感

佐賀県建設業協会らが開催

一般社団法人佐賀県建設業協会とNBCラジオ佐賀は21日、県内を代表する建設物のバックヤードや工事現場を見学するバスツアー「夏休み・親子BIGりたてもの見学会」を開催した。親子15組40人が参加し、普段は入ることができないトンネル工事現場や空港施設の裏側を見て回り、楽しい夏休みの1日を満喫した。

主催者あいさつで同協会の岸本剛会長は「公共工事や公共施設と言うと、自分にはあまり関係がないと思われる人もいるかもしれません。しかし、皆さんの生活を便利にしたり、日々の暮らしを支えていたり、災害から身を守って



佐賀空港エプロンで離陸を見学

くれたりする、とても大事なものです。きょう見学する所は皆さんが見上げないといけないほど大きい施設で、すべて地図の残る施設です。この見学をきっかけにして、いろいろな公共施設に興味を持って下さい」と話した。

一行は、九州新幹線西九州ルート俵坂トンネルの工事現場(嬉野市嬉野町)をはじめ、県内最大規模の嘉瀬川ダム(佐賀市富士町)や有明佐賀空港(同市川副町)一の3カ所を見学。

このうち有明佐賀空港では、県佐賀空港事務所の職員から空港の概要を聞き、駐留している飛行機に荷物を積み込む作業などを見学。また、普段は入ることができないエプロンに下りて飛行機の離陸を見送った後、バスに乗って全長2000mの滑走路を見て回り、その広さを体感した。

【8月22日HP掲載】



子供たちに公共事業の大切さを語る
岸本剛会長